

# 世界史 B

(解答番号  ~ )

**第1問** 世界史上のマイノリティ(少数派)について述べた次の文章A～Cを読み、  
下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A ローマ帝国末期に①異端とされた単性論系のキリスト教は、エジプトやエチオピアなど②アフリカ各地に広がった。エジプトではコプト教会という名で知られ、その信者は、帝国の支配下では弾圧されたが、イスラーム勢力がエジプトに進出した後は、貢納と引き替えに信仰を許された。コプト教徒は、十字軍のように宗教対立が激化した時代には迫害されたが、後には、③地中海地域のキリスト教諸国による保護を受けることもあった。ヨーロッパ列強がエジプトに進出すると、コプト教徒の中には、ムスリムにエジプト人としての団結を呼びかけ、国民運動で指導的な役割を果たす者も現れた。

問1 下線部①に関連して、世界史上のキリスト教の異端について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ネストリウス派は、漢代の中国に伝わった。
- ② フス派は、トリエント公会議で異端とされた。
- ③ アリウス派は、三位一体説を唱えた。
- ④ カタリ派に対し、アルビジョワ十字軍が組織された。

問 2 下線部②の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ニジェール川流域で、モノモタパ王国が栄えた。
- ② クフ王のもとで、アマルナ美術が栄えた。
- ③ ベルベル人の間で、イスラーム教への改宗が進んだ。
- ④ マダガスカルが、ドイツの植民地となった。

問 3 下線部③について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アラゴン王国とカスティリヤ王国が統合され、ポルトガル王国が成立した。
- ② ラテン帝国は、第7回十字軍によって成立した。
- ③ シチリア王国は、アヴァール人により建国された。
- ④ ビザンツ帝国で、聖像禁止令(聖像崇拜禁止令)が出された。

## 世界史B

B 多数の人々が犠牲となった2002年のグジャラート暴動のように、④多数派のヒन्दゥー教徒と少数派のムスリムの対立は、現代のインドにおいて大きな問題となっている。しかし、歴史的に見ると、両者の関係は必ずしも対立的なものではなかった。11世紀に⑤トルコ系ムスリム勢力の侵略を受け、著名なヒन्दゥー寺院が破壊・略奪されたとされるソーマナータにおいても、アラブ系やイラン系のムスリムとヒन्दゥー教徒は平和裏に共存していた。13世紀半ばには、⑥海上交易に従事するムスリム商人が、ヒन्दゥー寺院の神官を含む地元住民の同意を得て寺院から土地を購入し、モスクを建立したことが、サンスクリット語とアラビア語の碑文から知られている。

問4 下線部④に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、全インド＝ムスリム連盟が結成された時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

|                                |
|--------------------------------|
| <input type="text" value="a"/> |
| 1905年 ベンガル分割令                  |
| <input type="text" value="b"/> |
| 1924年 カリフ制廃止                   |
| <input type="text" value="c"/> |
| 1947年 インド独立                    |
| <input type="text" value="d"/> |

① a

② b

③ c

④ d

問 5 下線部⑤に関連して、ムスリムの君主や王朝について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① アイバクが、カージャー朝を創始した。
- ② サラディン(サラーフ=アッディーン)が、イエルサレムを奪回した。
- ③ ムワッヒド朝が、アナトリアに進出した。
- ④ アチェ王国が、セイロン島に建てられた。

問 6 下線部⑥について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- a チョーラ朝が、海上交易で栄えた。
- b イギリスが、ゴアをアジア貿易の根拠地とした。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

C ⑦ロシアの民族マイノリティの一つであるドイツ人(ドイツ系住民)は、ロシアの西欧化に大きく貢献した。モスクワ郊外にドイツ人などが形成した「外国人」居留地(下図参照)は、若きピョートル1世が西欧の文化に触れる場となった。18世紀後半には、ドイツ人入植者が農業の発展に寄与し、19世紀後半の⑧工業化の進展においても、ドイツ人企業家が大きな役割を果たした。しかし、二度の世界大戦の時代に、彼らは「敵国人」として迫害を受けることとなる。特に、第二次世界大戦前後には、クリミア=タタール人、朝鮮人、⑨チェチエン人などのマイノリティとともに、ドイツ人も強制移住の対象となった。



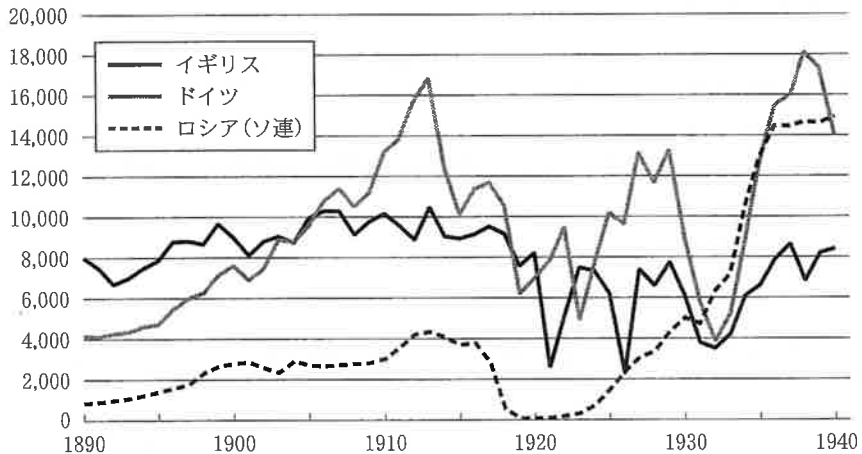
モスクワ郊外の「外国人」居留地

問 7 下線部⑦に関連して、ロシアやソ連の対外関係について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① ロシアが、明との間でアイグン条約を結んだ。
- ② ロシアが、カナダにアラスカを売却した。
- ③ ソ連が、第二次世界大戦中に、ラトヴィアを併合した。
- ④ ソ連が、フルシチョフ政権下で、アフガニスタンから撤退した。

問 8 下線部⑧に関連して、次のグラフは、1890年から1940年にかけてのイギリス、ドイツ、ロシア(ソ連)の銑鉄(鉄鉱石を溶鉱炉で溶かして還元した鉄)生産量の推移を示したものである。このグラフから読み取れる内容について述べた下の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

単位：1,000トン



(B. R. ミッチェル編『マクミラン新編世界歴史統計[1] ヨーロッパ歴史統計：1750～1993』より作成)

- a 第一次世界大戦後、ドイツの銑鉄生産量が、イギリスの生産量を初めて上回った。
- b ロシア(ソ連)では、第2次五か年計画の時期に、銑鉄生産量が大幅に伸びている。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

問 9 下線部⑨に関連して、次の年表に示した a ~ d の時期のうち、チェチェン紛争が勃発した時期として正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。

9

a

1916年 中央アジアで民族反乱が始まる

b

1941年 ヴォルガ = ドイツ人の強制移住命令が出される

c

1986年 ペレストロイカ(改革)の本格的始動が宣言される

d

① a

② b

③ c

④ d

(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。



## 世界史B

第2問 世界史上の革命や政治体制の変化について述べた次の文章A～Cを読み、  
下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A ① フランス史上初めて憲法が制定されたのは、フランス革命勃発から2年を経た1791年9月である。立憲君主制、国民主権、三権分立、間接制限選挙制など、91年憲法は、当時としては変革に大きく踏み込んだものであった。この憲法は9月半ばに国王に受理され、② 憲法制定国民議会の議長は、憲法制定をもって革命の終結を宣言する。しかし、当初から革命に非協力的であった国王は、決して心から憲法を容認していたわけではなかった(下図参照)。すでに国王への信頼を失っていた人々は、この後、③ 王政廃止、共和政樹立へとさらに革命を押し進めていくことになる。



二つの顔を持つ国王を描いたフランス革命期の風刺画。向かって左の人物に「憲法を支持しよう」と言い、右の人物には「憲法を破棄しよう」と言っている。

問 1 下線部①に関連して、世界史上の憲法について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 日本国憲法は、主権在民(国民主権)をうたっている。
- ② アメリカ合衆国憲法は、三権分立の原則を採用した。
- ③ ヴァイマル憲法は、男女平等の普通選挙を規定した。
- ④ ミドハト憲法は、インドで制定された。

問 2 下線部②に関連して、世界史上の議会について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① フランクフルト国民議会で、メッテルニヒが失脚した。
- ② アテネで、成年男性市民による民会が開催された。
- ③ フランスで、模範議会が開催された。
- ④ ハンガリーで、ドゥーマが開設された。

問 3 下線部③に関連して、世界史上の共和政や共和国について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12

- a ルイ=フィリップの亡命により、フランスで共和政が復活した。
- b 列強がアフリカの植民地化を進めるなか、リベリア共和国は独立を維持した。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

B 革命や政治体制の変化は、歴史の研究にも大きな影響を与えてきた。20世紀を代表する④古代ローマ史家の一人、ロシア出身のミハイル＝ロストフツェフ（下図参照）は、その著書『ローマ帝国社会経済史』の中で、ローマ帝国の経済的繁栄が⑤都市のブルジョワジーに支えられていたと指摘した。そして、その繁栄は、農民出身の兵士たちの横暴によって失われたと主張したのである。しかし、このような見方は、⑥故国で生じた革命によって亡命を余儀なくされるという彼自身の体験に大きく影響されたものだった。ローマ帝国の衰亡をめぐる議論は、現在も終わる気配を見せていない。



『ローマ帝国社会経済史』執筆当時のロストフツェフ

問 4 下線部④の政治体制について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 王政期には、エトルリア人の王が存在した。
- ② 共和政期には、平民(プレブス)が、要職を独占した。
- ③ コンスタンティヌス帝の下で、帝政が始まった。
- ④ ユスティニアヌス帝の死後、帝国が東西に分裂した。

## 世界史B

問 5 下線部⑤に関連して、中世ヨーロッパにおいて東方貿易に従事し、香辛料の取引で栄えた都市の名と、その位置を示す次の地図中の **a** または **b** との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14



- ① ヴェネツィア — a
- ② ヴェネツィア — b
- ③ アムステルダム — a
- ④ アムステルダム — b

問 6 下線部⑥について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 「土地に関する布告」が採択された。
- ② キール軍港での水兵反乱が、革命のきっかけとなった。
- ③ レーニンが、「四月テーゼ」を発表した。
- ④ ケレンスキーが、臨時政府の首相となった。

## 世界史B

- C ⑦ 20世紀には、様々な思想に基礎づけられて、革命が発生した。中国の国民革命では、民権や民生が重視される一方で、軍政、訓政、憲政を順次実行する三段階論も主張されていた。訓政は、⑧国民政府が統一した後の中国政治のなかで、人民に選挙権などの行使を訓育する体制であり、国民党の支配が前提とされていた。戦後のアジアでは、この訓政と類似する政治指導が散見される。インドネシアでは、独立後実施された議会制民主主義の行き詰まりを打開するため、「指導された民主主義」が唱えられた。⑨これらの政治指導では、民権よりも「上からの指導」が優先されたが、やがて多くの国家で政治の民主化が進んだ。

問 7 下線部⑦に関連して、メキシコ革命について述べた次の文章中の空欄  と  に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

メキシコでは、独裁体制を敷いていた  大統領の打倒を目指す武装蜂起が、全国規模の革命に発展した。  ら農民指導者に率いられた農民運動も革命に加わるなかで、民主的憲法が制定された。

- ① アーディアス    イーサパタ
- ② アーディアス    イーペロン
- ③ アーフランコ    イーサパタ
- ④ アーフランコ    イーペロン

問 8 下線部⑧について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ  
選べ。 17

- ① アメリカ合衆国・ソ連・中国の3国首脳によって、カイロ会談が行われた。
- ② 汪兆銘を首班とする親日政権(対日協力政権)が建てられた。
- ③ 重慶で、中華ソヴィエト共和国臨時政府が成立した。
- ④ 中国国民党が、八・一宣言を出した。

問 9 下線部⑨に関連して、民主化政策や民主化運動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① ポーランドでは、チャウシェスクの独裁体制が崩壊した。
- ② 韓国では、朴正熙によって民主化が推進された。
- ③ 中国では、九・三〇事件によって民主化運動が抑圧された。
- ④ 台湾では、李登輝によって民主化が推進された。

## 世界史B

**第3問** 国家が諸地域を統合するために採用した制度について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 革命運動を経て成立したアッバース朝は、国内の政治状況の安定化を図るとともに、辺境や周縁地方の情報収集に努めた(下図参照)。初期のカリフたちは、①土地の管理や租税徴収を担当する税務庁や軍務庁、駅遞庁などの官庁(ディーワーン)を整備し、「ミフナ」と呼ばれる異端審問により、②思想統制を行った。また、カリフの権威を知らしめるべく、北方のヴォルガ=ブルガールの王らに向けて使節を派遣し、スラヴ系、トルコ系の人々や、③さらに北方の「巨人族」の情報をも収集した。こうして、カリフを頂点とする中央集権的な支配体制が確立されたのである。



10世紀の地理書に見られる世界地図(12世紀の写本より)(上)とその模式図(下)

問 1 下線部①について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① コロナートゥス(コロナトゥス)は、共和政ローマで広まった。
- ② イクター制は、プワイフ朝で初めて実施された。
- ③ 均田制は、元で創始された。
- ④ ティマール制は、セルジューク朝で施行された。

問 2 下線部②に関連して、思想・言論・宗教に対する国家の介入について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 朱全忠は、文字の獄で、反清思想を弾圧した。
- ② 曹操は、焚書・坑儒を行い、儒者を弾圧した。
- ③ 日本では、治安維持法により、言論や社会運動の抑制が図られた。
- ④ スペインでは、カトリック教徒解放法により、カトリック教徒の公職への就任が可能となった。

問 3 下線部③に関連して、「未知なる世界」への探検について述べた次の文章中の空欄 ア と イ に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

ア は、1870年代に、アフリカ大陸の内陸部を探検し、横断に成功した。20世紀に入ると、国の威信をかけた極地探検が本格化し、イギリスのスコットに先駆けて、1911年に、ノルウェーのアムンゼンが イ 点に到達した。

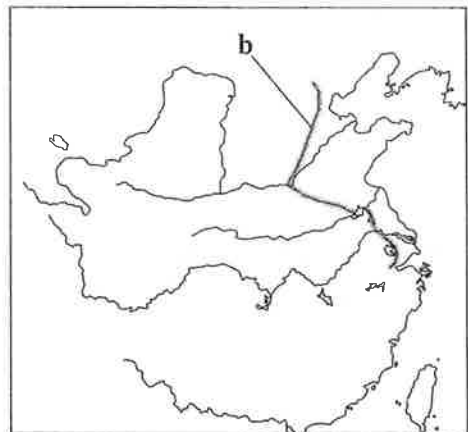
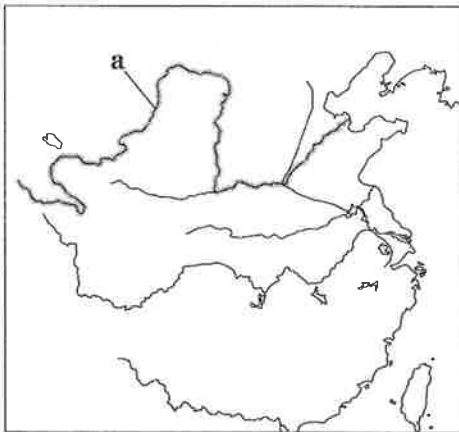
- ① アータスマン      イー北 極
- ② アータスマン      イー南 極
- ③ アースタンリー      イー北 極
- ④ アースタンリー      イー南 極



## 世界史B

B 世界史上には、気候条件や生態環境などによって生業・文化を異にする複数の勢力が、南北に対峙し、④交流したり対立したりする事例がしばしば見られる。中国では、乾燥した北部と湿潤な南部の隔たりが大きかったが、隋唐期を境に両者の統合が強められていく。その基盤となったのが、隋の進めた **ア** に他ならない。次いで⑤唐代中後期には、穀倉地帯である南部で徴収した物資を、水運を通じて都へ送り、外部勢力と対峙する北辺の軍事費を補うようになっていく。中国における南北間の経済的統合は、このような仕組みを通じて大きく進展するのである。

問 4 文章中の空欄 **ア** に入れる語と、その位置を示す次の地図中の **a** または **b** との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **22**



- ① 黄河の治水 — a
- ② 黄河の治水 — b
- ③ 大運河の建設 — a
- ④ 大運河の建設 — b

問 5 下線部④に関連して、諸国家や諸勢力の間で起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 契丹(キタイ)は、燕雲十六州の領有をめぐって、秦と争った。
- ② ネーデルラントの北部が、ユトレヒト同盟を結成して、フランスからの独立を宣言した。
- ③ アメリカ合衆国は、ラテンアメリカ諸国とともに、米州機構(OAS)を結成した。
- ④ エフタルの侵入により、ムガル帝国が衰えた。

問 6 下線部⑤の時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 五胡と総称される諸民族が、華北で勢力を広げた。
- ② 傭兵を用いる募兵制が導入された。
- ③ 康熙帝が、ジュンガルと戦った。
- ④ ロシアが、沿海州を獲得した。

## 世界史B

C 中世ヨーロッパにおける戦争は、騎士として戦場に立つ貴族を中心に繰り広げられた。しかし12世紀以来の⑥貨幣経済の浸透に伴って、封建制の秩序が動揺すると、徐々に⑦傭兵が軍隊の中心になっていく。雇い主と契約を結ぶ傭兵は、「主君のため」に戦う騎士と違い、「報酬のため」に戦う存在であり、近世に重用された。しかし、やがて君主たちによって直属の常備軍が整えられると、傭兵への依存度は減少していき、⑧常備軍が官僚制と並んで君主の支配を支える重要な要素となった。その後、近代を迎えると、「祖国のため」に戦う国民軍が組織されることになる。

問 7 下線部⑥に関連して、世界史上の貨幣や貨幣制度について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 東周では、五銖銭が発行された。
- ② 北魏では、交鈔と呼ばれる紙幣が発行された。
- ③ ストルイピン内閣は、 Rentenマルクを発行した。
- ④ マクドナルドの挙国一致内閣は、金本位制を停止した。

問 8 下線部⑦に関連して、世界史上の傭兵や兵士について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① スパルタの重装歩兵軍は、マラトンの戦いで勝利した。
- ② 傭兵隊長オドアケルは、フランク国王を退位させた。
- ③ 傭兵隊長ヴァレンシュタインは、スウェーデン軍を指揮した。
- ④ イギリス支配への不満から、インド人傭兵(シパーヒー)の反乱が発生した。

問 9 下線部⑧に関連して、国家の統治制度や軍事制度について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

- a モスクワ大公国では、プロノイア制が用いられた。
- b 漢の高祖は、郡国制を採用した。

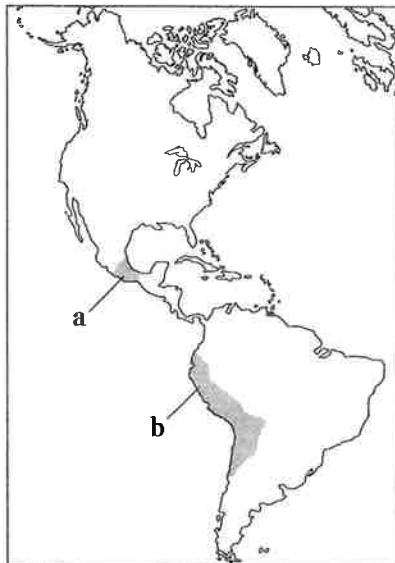
- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

## 世界史B

**第4問** 世界史における自然環境・資源と人間との関わりについて述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A スペインは、16世紀にアステカ王国や①インカ帝国を征服した後、先住民の社会体制を巧みに残しながら、植民地支配体制を整えていった。そして、先住民を労働力として酷使しながら銀鉱山の開発を進め、この資源を独占することで、スペインは大きな富を手に入れることになったのである。②アメリカ大陸の大量の銀はアジア貿易で使用されたほか、対外戦争の費用としても投入され、スペイン帝国の繁栄を支えた。一方で、大航海時代の海外進出競争で後れをとったイギリスやオランダなどは私掠免許(私拿捕免許)を発行し、③武装した船団に、銀を輸送するスペイン船団を襲わせた。

問1 下線部①の位置を示す次の地図中のaまたはbと、その征服者の名との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28



① a — コルテス

② a — ピサロ

③ b — コルテス

④ b — ピサロ

問 2 下線部②に関連して、アメリカ大陸の銀とその流通について述べた次の文中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

ボリビアの **ア** などの銀鉱山で採掘されたアメリカ大陸の銀は、メキシコのアカプルコから太平洋を渡って、スペインの拠点である **イ** に至る航路によって、アジアにもたらされた。

- ① アークスコ イーフ エ
- ② アークスコ イーマニラ
- ③ アーポトシ イーフ エ
- ④ アーポトシ イーマニラ

問 3 下線部③に関連して、世界史上の海戦について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- ① アクティウムの海戦で、アントニウスが勝利した。
- ② トラファルガーの海戦で、イギリス艦隊が敗北した。
- ③ プレヴェザの海戦で、オスマン帝国が勝利した。
- ④ ミッドウェー海戦で、アメリカ艦隊が敗北した。

## 世界史B

B 海洋という④自然環境は、アジアにおける交易の発展に大きな役割を果たした。海洋交易によって、1世紀頃から東南アジアにインドの文化や技術がもたらされ、多くの⑤港市国家が栄えた。中国商人やムスリム商人も香辛料や海産物を求めて頻繁にこれらの港市を訪れた。これらの交易に利用されたのは、主に風を動力とする帆船であった。アジアにおける帆船交易は、15世紀から18世紀に最盛期を迎えた。しかし19世紀になると、蒸気を動力とする⑥蒸気船が、しだいに帆船に代わって長距離交易の主役となっていった。

問 4 下線部④に関連して、自然哲学や薬学について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

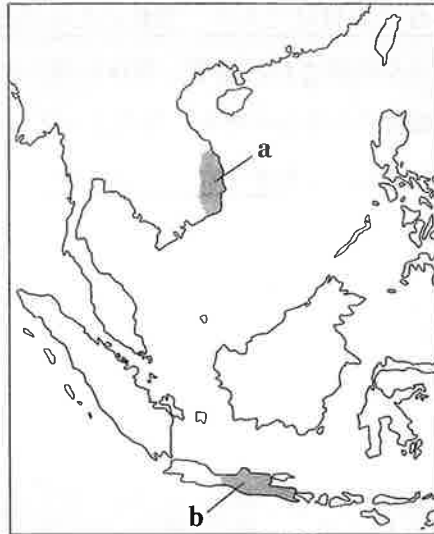
|    |
|----|
| 31 |
|----|

a タレスは、万物の根源を水だと考えた。

b 宋応星が、『本草綱目』を著した。

- ① a — 正      b — 正
- ② a — 正      b — 誤
- ③ a — 誤      b — 正
- ④ a — 誤      b — 誤

問 5 下線部⑤に関連して、2世紀に成立し、インド文化の影響を受けた国家の名と、その位置を示す次の地図中の a または b との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32



- ① チャンパー — a
- ② チャンパー — b
- ③ マタラム王国 — a
- ④ マタラム王国 — b

問 6 下線部⑥に関連して、世界史上の船に関する出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

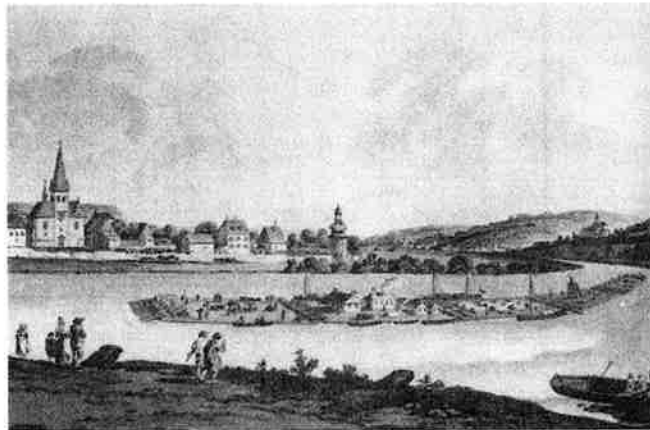
- ① イギリスが、無制限潜水艦作戦を実行した。
- ② アテネが、三段櫂船を用いて戦った。
- ③ ハーグリーブズは、蒸気船を実用化した。
- ④ 琉球は、亀甲船を用いて交易した。



## 世界史B

C 木は、長らく人類にとって重要な資源であり、石器時代から18世紀までは「木の時代」とも呼ばれる。例えばドイツでは、中部・南部の森林から産出された木材が、河川を通じて下流の都市に届けられた(下図参照)。この水上運搬のために、ライン川やエルベ川に注ぐ⑦河川や水路が整備・開発されたのである。

⑧木は、家具や農具などの材料であり、製鉄のための燃材でもあった。様々な用途のために大量の木が伐採された結果、森林の減少が顕著となり、16世紀以降には、木の伐採を規制する条令が数多く発布された。またこの頃より、森林に対する学問的な関心も増し、⑨植物学などの自然科学の発展を促した。



ライン川中流の都市ウンケル(1798年の銅版画)  
木材をつないだ筏いかだが島のように見える。

問 7 下線部⑦について述べた次の文 a ~ c が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 34

- a スエズ運河が開通した。
- b アメリカ合衆国で、テネシー川流域開発公社(TVA)が設立された。
- c ナセル大統領の下で、アスワン=ハイダムの建設が目指された。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問 8 下線部⑧に関連して、木材や鉄に関わる歴史について述べた文として波線部の正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 35

- ① インド=ヨーロッパ語系のアッカド人は、鉄製武器を初めて本格的に用いた。
- ② メロエを都としたクシュ王国は、製鉄で繁栄した。
- ③ ハンザ同盟都市フィレンツェが、木材の取引で繁栄した。
- ④ ジョン=ケイが、コークスを用いた製鉄法(コークス製鉄法)を発明した。

## 世界史B

問 9 下線部⑨について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **36**

スウェーデン人の **ア** は、18世紀に植物分類学を確立した。19世紀前半に『ファウスト』を著した作家 **イ** もまた、植物学や鉱物学の研究に携わっていた。

- |   |        |       |
|---|--------|-------|
| ① | アーリンネ  | イーゲーテ |
| ② | アーリンネ  | イーシラー |
| ③ | アーメンデル | イーゲーテ |
| ④ | アーメンデル | イーシラー |

(下書き用紙)



# 問題訂正

## 地理歴史「世界史 B」

|      |                      |
|------|----------------------|
| 訂正箇所 | 35ページ 第2問 A 問2 問いかけ文 |
| 誤    | …議会について…             |
| 正    | …議会や集会について…          |